

1年 道徳

| | |
|--------|---|
| 主題名 | 最後まで粘り強く |
| 中心内容項目 | A-5 強い気持ちでしっかりと（希望と勇気、努力と強い意志） こぐまのらっぱ |
| 令和元年 | 8月 23日 2校時 |
| 児童 | 1年 2組 18名 |
| 授業者 | 磯谷 麻江 |

1 主題設定について

(1) ねらいとする道徳的価値（教師の価値観）

第1学年及び第2学年の内容の「A-5 希望と勇気、努力と強い意志」は、「自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと」とある。

この時期の児童は、何事も好奇心をもって行おうとする。やらなければならないことを素直に受け入れることが多い。また、興味・関心のあることについては、意欲的に取り組むものの、好き嫌いで物事を判断し、つらいことや苦しいことがあるとくじけてしまう傾向がある。

自分の目標に向かって粘り強く最後まで努力することは、前向きな生き方をするために必要なことである。途中で困難や失敗があっても、それを乗り越えてやり遂げる喜びや達成感を大事にし、努力する自分を認められる心情を育てたい。

(2) 児童の実態（児童観）

入学してから児童は、係の仕事や当番活動に意欲的に取り組んでいる。何かお願いするとすぐに来て進んで手伝いをする。しかし、好き嫌いで物事を判断することもある。学習や運動でもがんばる姿は見られるが、困難を感じるとくじけてしまう傾向もある。また、整列をしなければいけないときに友達と話をしながら並べないことや授業中姿勢が崩れたり、自分の考えをすぐに話してしまったりすることなど、集団生活の中で今しなければいけないことができない児童も多い。そこで、自分のやるべき学習や仕事にはどのようなものがあり、しっかりと行うことの意義を自覚させる必要がある。

このようなことから、学校生活に慣れ、日々の学習や係、当番の仕事などを通して、自分で行わなければならない事柄があることに気付き始めるこの時期に、自分の行うべきことを最後まで粘り強く行おうとする気持ちを育てたい。そして、やり遂げたときの喜びや充実感を味わい、努力した自分に気付くことができるように指導していきたい。

【事前アンケート】

| 内容 | 結果 |
|---------------------------|----|
| がんばっていることはありますか。 | |
| がんばれないことはありますか？ | |
| がんばり続けてできるようになったことはありますか。 | |
| どうしてがんばりつづけられたのですか。 | |

(3) 教材への思い（教材観）

本教材は、音楽隊の演奏会に向けてらっぱを担当しているこぐまが、うまく演奏できずくじけそうになりながらも練習に取り組み、最後に演奏会を成功させる話である。

こぐまは初めは一生懸命努力しているが、なかなか上達せず、諦めかける。しかし、小鳥の会話をヒントにして、楽しみにしてくれる観客のことを考えて練習を再開する。演奏会が成功し、観客の拍手や応援してくれた仲間が喜ぶ姿にこぐまはうれしくなる。諦めかけて再び取り組んだこぐまの思いを想像し、乗り越えた喜びや達成感に共感するようにして、ねらいに迫りたい。

音楽隊の一員としての役割を自覚し、観客のことを思い練習に励むこぐまの姿を通して、途中で投げ出してしまわずやり遂げることの大切さを十分にとらえられるようにしたい。

2 総合単元ユニットとの関係

係活動や当番活動、かけはし交流、学芸会の取組など、学校生活のあらゆる場面において、目標をもって諦めずに取り組むことが大切であることを理解し、生活場面でも生かしていこうとする意欲を高める。

3 研究との関り

学び合う雰囲気づくりの工夫

教師と子供の温かい人間関係、子供同士の認め合いや励まし合いのできる関係によって、お互いが心を開き、自由に話し合うことができるようにする。

問題意識をもつようにする導入の工夫

子供が自分の問題として捉え、その追求や解決について必然性をもって行うようにする。

自我関与させる展開の工夫

子供が読み物教材の登場人物に託して自分の考えや気持ちを素直に語る中で、道徳的価値の理解を図る。

生活とつなげる振り返りの工夫

学習内容や学習活動を俯瞰して納得解をまとめることで、自分の生活や行動、今後の発展へとつなぐことに着眼する機会とする。

4 本時の学習

(1) 本時のねらい

- 自分が行わなくてはならないことは、最後まで粘り強く行おうとする心情を育てる。

(2) 本時の展開

| | 活動内容・予想される児童の反応（○発問 ◎中心発問） | 教師の支援・評価・研修との関わり ●支援 □評価指標 ◎研修との関わり |
|-----------|---|---|
| 価値への方向付け | 1 ねらいとする道徳的価値に対する興味・関心を高め、「課題」を設定する ○がんばっていることはありますか。 ・水泳 ・ピアノ ・宿題 ・算数 ・音読 ・チャレンジ ○がんばれないことはありますか。 ・水泳 ・音読 ・姿勢 ○教材「こぐまのらっぱ」を通して、できるようになるためにがんばり続けるにはどうしたらよいかを考えましょう。 《本時の課題》 がんばる心を強くするにはどうしたらよいか考えよう。 | ●学び合う雰囲気づくりを行う。 ◎がんばらなければいけないことはわかるが、がんばれないこともあることに触れ、本児の課題に関心や意欲をもたせる。 ●悩んでいるこぐまと演奏会をしているこぐまの挿絵を見せ、なぜ悩んでいる顔から笑顔に変わったのか読む視点を与える。 |
| | 2 教材「こぐまのらっぱ」を通して、「課題」を追求する ○悩んでいるこぐまと演奏会をしているこぐまの違いについて考える。 ・悩んでいるこぐま→悲しそう。 ・らっぱがなかなかうまく吹けない。（スースー） ・もうやめようと思っている。 ・演奏会のこぐま→笑顔・みんなも笑顔 ・上手に吹けてうれしい。（パーパー） ○悩んでいるこぐまは、なぜやめたくなったと思いますか。 ・たくさん練習しても吹けないから。 ・自分だけできなくて恥ずかしい。 ・練習に疲れた。 ・苦手だからやりたくない。 | ●はじめのこぐまは、夜まで練習しているけれどできずに諦めようとしていることを押さえる。（がんばっているけれど諦めかけている） ●音の違いも確認する。 ●練習を続ける意味を考えさせるために、あえてマイナスな意見を出す。 |
| | ◎どうしてがんばり続けられたと思いますか。 ・お客さんに喜んでほしいという気持ち ・友達が応援してくれた ・練習したらできるようになってきた ・できるようになるとうれしい ・ほめてもらえる 《共通解》 応援や相手を思う気持ちで諦めずにがんばる気持ちが強くなる ○友達の立場だったら、あきらめそうな友達に何をしてあげられますか。 ・はげます ・練習を一緒にする ・教えてあげる | ◎なぜがんばり続けられたかについてノートに書き、話し合う。 ●子供たちが、学習してきたことと日常生活とのつながりを意識できるように、導入に戻って考えさせる。 ◎日常生活のエピソードを語る。 □道徳的実践意欲 これからできないことがあってもがんばり続けようとする気持ちをもつことができたか。 【ワークシート・発表】 |
| 価値の追求・把握 | 3 価値について納得解をまとめる ○自分の生活と今日の学習とをつなげて考える。（導入で挙げられたことと比較して考え直す。） ○本時の学習を振り返り、気付いたことや自分の考えをワークシートにまとめる。 | |
| 価値の自覚・意欲化 | | (3) 本時の評価 ・自分が行わなくてはならないことは、最後まで粘り強く行おうとする心情を育てることができたか。 |